

■10月15日

伊ENI「アリアアへの燃料供給、取締役会の保証必要」

イタリアのエネルギー大手ENI(E)のパオロ・スカローニ最高経営責任者(CEO)は11日、赤字経営が続く航空大手アリアアについて、業務を継続できると確信できなければ、燃料供給を今週末以降に停止すると発言した。

(->)ブリュッセルでの会議に出席した際、イタリアのテレビ局スカイTG24に対し、「(アリアア航空の)取締役会からあらためて(存続を)確認できるなら、当社は燃料供給を続ける」と語った。

(WSJ)10/14

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424052702303831204579133472537751460.html> (->
<http://jp.wsj.com/article/SB10001424052702303831204579133472537751460.html>)

エアアジア(LCC)CEO、「日本と欧州における事業は失敗」

(レスポンスによると)

格安航空会社エアアジアの創業者トニー・フェルナンデス氏は「グローバル企業サミット(GES)2013」において、日本と欧州における事業に失敗したことを認める発言を行った。マレーシアン・ダイジェストが報じた。

日本事業では合併相手が、エアアジアが求めているものを理解していなかったとし、「最悪」だったとコメント。今後日本市場に再度参入する意欲はあるが、今度は正しい提携相手を見つける必要があると強調した。

エアアジアは今年6月、全日本空輸(ANA)と共同で出資していたエアアジア・ジャパンの共同事業を解消することを発表した。マネジメントや運営面での違いなどを解消の理由とした。

トニー・フェルナンデス氏は、2012年3月にロンドン線を廃止した件について、エアバス「A340」を同路線で使用したことが間違いだったとコメント。航空燃料価格が上昇したため、同機材を使用することは実行不可能となったためだと説明した。また、英国のグリーン税制も長距離フライトに対して差別的だったと述べた。今後、ロンドン線を再開させることには意欲的で、需要が高いため必ず再開させる必要があると語った。

(レスポンス)10/14

<http://response.jp/article/2013/10/14/208480.html> (-> <http://response.jp/article/2013/10/14/208480.html>)

ピーチ、成田で第1PTB南ウイング

今月27日から関西～成田線の就航を予定するピーチ・アビエーションは成田国際空港の第1ターミナル南ウイングで旅客ハンドリングを行うことが明らかになった。

ピーチは10月27日から関西～成田線を1日2往復で運航開始し来年1月10日からは3往復に増便する計画。

成田空港では現在、エアアジア・ジャパン(バニラ・エア)とジェットスター・ジャパンの本邦LCC2社はともに第2ターミナルから発着している。

日刊航空 <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)

エアバス、20年間の貨物機市場予測

エアバスは10月11日、最新の航空機市場予測を発表した。

2032年までの20年間で世界の航空貨物輸送量は年間平均4.8%増加して貨物機数は約3,000機に倍増する見通しを明らかにした。

20年間で新造(約870機)と旅客機からの転用(約1,860機)をあわせて約2,730機の貨物機が必要でこのうちの半数以上は現行機の入替え需要としている。

また、現在運航されている貨物機のうち175機が2032年でも現役と予想した。

現在、アジア太平洋地域(インドと中国含む)は世界の航空貨物輸送量の36%を占めていて、2032年には42%に拡大すると予想している。

中国のシェアは現行15%から約22%に拡大すると予想している。

日刊航空 <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)

神戸空港、2013年9月利用状況

これによると、旅客実績は前年同月比10.7%減の20万2,284人、利用率は68.2%で前年同月の71.8%と比較して3.6ポイント低下した。

貨物・郵便量は69.7%減の20万0,666kgと発表された。

日刊航空 <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)

那覇空港貨物取扱量・9月速報

沖縄地区税関那覇空港税関支署は2013年(平成25年)9月分的那覇空港における貨物取扱量(速報)について発表した。

総取扱量は対前年同月比16.0%増の1万3,516トンと4ヵ月連続の増加となった。

日刊航空 <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)

チャイナ エアライン、二つの“松山”空港を結ぶチャーター便就航

チャイナ エアラインは10月11日に日本と台湾にある同名の二つの空港を結ぶ記念すべきチャーター便を就航した。

愛媛県松山市の松山空港と台湾の台北市にある松山空港で英語表記は“Matsuyama”と“Songshan”と異なるが漢字ではどちらも“松山”と表記される。

日刊航空 <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)